

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域に根ざした交流を考え、回覧板・地域清掃等、地域の一員として交流を図っている。ホーム開設以来、継続的に取り組んでおり、現在では、ごく当たり前の自然な近所づきあいができるまでになっている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に一度の会議開催があり、議事録からも有意義な活用が確認できる。ホーム側からの報告にとどまらず、専門家として参加者の質問に答える等、地域資源としての役割を果たしている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 町担当者・地域包括支援センターとの関係は良好であり、ホームからの相談・報告だけでなく、行政側から認知症高齢者についての質問・相談を受ける等の協力・連携がある。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会時・家族会・電話連絡時等に、管理者・職員が直接の聴き取りを行っている。聴き取った内容は速やかに協議・検討を図り、介護計画・運営に反映させている。今回家族アンケートでも、ホームの対応に対する評価は高い。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

サービスの質の向上・利用者本位の介護支援に関しての意識は高く、ホームの課題を、管理者・職員間で協議・検討し、方針の周知を図る仕組みが構築できている。今回外部評価で一年の振り返り評価を行った際、どの職員も、ホームの「今年度の取組み」を理解しており、自己評価で進捗状況が評価できたことも、継続的な取組みの賜物であると言える。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。